

公益財団法人日本海事センター

第69回理事会議事録

- 1 開催場所 海事センタービル「4階会議室」
- 2 開催日時 令和7年3月5日（水）11時30分～12時30分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 12名、定足数7名
- 4 出席理事 9名
(本人出席) 宿利正史、平垣内久隆、下野元也、宇佐美和里、坂下広朗、
寺門雅史、中村紳也、二村真理子、山田哲也
(ウェブ出席) なし
(欠席理事) 阿曾智孝、綾 清隆、井元 誠
(出席監事) 石川 尚、阪本敏章、中本光夫
(議案説明及び報告) 平垣内久隆理事長、下野元也常務理事
- 5 議 案 第1号議案「令和7年度事業計画書及び収支予算書等」について
第2号議案「規程類の改正」について
報告事項 ①第66回理事会以降の業務執行状況について
②第43回・第44回評議員会の決議内容について
- 6 会議の概要
(1) 定足数の確認
冒頭で国安総務部長から定足数の充足を確認した。
(2) 議案の審議状況及び議決結果
定款に基づき、宿利正史会長が議長となり、議案の審議に入った。
また、議長は、定款第47条第2項の規定に基づき、議事録署名人は代表理事及び監事になる旨を告げた。
(決議事項)
第1号議案「令和7年度事業計画書及び収支予算書等」について
議長の求めに応じ、下野元也常務理事から、「令和7年度事業計画書(案)」、「収支予算書(案)」及び「資金調達及び設備投資見込み」について議案説明があった。
本議案について、次のような質疑があった。

(中本監事)
ウクライナ紛争、トランプ大統領の関税政策、またその影響による生産拠点の移転等に焦点を当てて調査研究することを基本として、その上で各種調査を実施するという姿勢を示すことが大事ではないか。

(下野常務理事)

事業計画書の「海事産業の競争力の強化等」にあるように、米国の政権交代など大きな変化が見込まれる中で、例えば関税政策による貿易構造が変わることが見込まれるが、海事産業としてどう対応していくのか、荷動きがどういう形に変わっていくのか等、国内外の海上輸送動向を把握することが大きなテーマであると考えている。また、本年4月、アライアンスの再編と第二次トランプ政権下における海上コンテナ輸送というテーマでJMC 海事振興セミナーを開催する。第一次トランプ政権でも中国からの北米航路が東南アジアにシフトするという大きな変化があった。今後どう変わっていくのか、またアライアンスにどういった影響が出てくるのか、海事センターとしても研究して、セミナーの場等で発表していきたい。

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

第2号議案「規程類の改正」について

議長の求めに応じ、平垣内久隆理事長から、「ハラスメント禁止に係る「就業規則」の改正及び「ハラスメント防止規程」について」、「ベースアップに係る「給与規程」の改正について」、及び「時間外勤務手当に係る「給与規程」の改正について」、下野元也常務理事から、「旅費規程」の改正について」の議案説明があった。

審議の結果、ハラスメント禁止に係る「就業規則」の改正及び「ハラスメント防止規程」、ベースアップに係る「給与規程」の改正、時間外勤務手当に係る「給与規程」の改正、「旅費規程」の改正については、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

(報告事項)

①業務執行状況について

下野元也常務理事から、令和6年5月22日開催の第66回理事会以降の公益目的事業の調査研究・政策提言事業、海事関係図書館の管理、運営事業及び海事関係公益活動支援事業、収益事業の海事センタービルの管理、運営事業及び融資事業に係る業務執行状況を報告し、了承された。

②第43回、第44回評議員会の決議内容について

下野元也常務理事から、第43回評議員会（令和6年6月6日開催）、第44回評議員会（令和6年9月2日、書面決議）の決議内容を報告し、了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、12時30分、議長は閉会を宣

し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和7年3月5日

代表理事 宿利 正史

監 事 石川 尚

監 事 阪本 敏章

監 事 中本 光夫